

なんとーなんとー1年ぶりに「えんちう通信」を書こうかな？と筆をとりました。

私も77才5ヶ月という年になりました

若持ちは20代(そんなバカな...)という声がかきこえてきます。水たまりバシャバシャが楽しい。むく鳥が下ごくさん飛くさん電線や桜の木にとまっている。よく見ていると電線に等間隔に並んでいる。一匹が(一羽かな)とびたつとバッーと隊列をつくってとびたつ。見ていると面白い!!

そのむく鳥をい、せいに とびたせたら どうなる? 電線の下で手をたたくと見た! 動かない!! もうちょっと大きな音を出したいと雨がささバタバタリカセながら ひらいては閉じをくりかえした夕

ヤッター パッととびたつた夕と思、たら 木の頭の上の電線にとまっている数羽のむく鳥、なーんだ、つようなり!! 家へかえり本国生のY君のうちに電話をかけた。

「お宅の桜の木にとまっている 飛くさんのむく鳥が一せいに とびたつ所が見たいんだけど、そこにボールを投げていい? ロケット花火うちこんでいい?」答にこまっているから「先生いくつになつた? そんな事大人の常識でも分るでしょ!!」

ハイわかっています。今の子ども達、そんな事考えないよ」その日の帰り、私の背中に「ボクッ」と落ちてきたものが...

むく鳥のフンが... Y君いわく「むく鳥の逆襲」がはじまるぞ、と。そんな事はないと思うけれど あとで考えてみると私の中の子ども達、こんな事があってもいいじゃないかな

でも...い、せいに とびたせたいカアと 見上げては Akikoです

目長通信
しんとうこころ子

国長通信
常世 卯好
R3.9

お久しぶり!!

コロナ・コナ・コナ・ワクテン・家庭内感染 オンライン授業・ズーム会議・テレワーク・分散登校 時差出勤... コロナワードについていろいろ 私です。教育はこんな事でなりたつのだろうか?

・子どもは密になりながら友達や家族や先生たちとの関係をつけ学ぶことが基本!
・大きな声を出さな!! 大きい声が出せるから小さい声やいろいろな声をコントロールすることが出来るのに...
・マスクをつける!! 苦しい思いやり身体が動かさない!! ともコロナの流行と共に上記の事はしっかりと守っている。けなげなくらい!! 子どもはコロナとの共存で自分の命を守っている。こうした事が10年後の子どもたちに どういう影響を与えていくか? 今、誰も分らない。

オリンピック、パラリンピックが行われた 2021年の夏に 子どもたちは何を見て、何を感じ、何が残っていたのだろうか? 今から10年前に東北地震があった。そこでの教訓は生きているのだろうか?

過去にもあったスペインかぜ。その他の疫病!! 地震・洪水・おおくの人を困らせ犠牲者を出す自然災害の数々。21世紀と共に訪れた試練の数々!!

これらから得たものもい、はいあるはず「コロナ」で考えさせられたことも、たくさんあるはずお母さんにとっぴんが子のおさをたくさん見つけられたら子どもたちにとっては、早くコロナがおさまって、外で仲よしと思いきりあそぶ事が出来る!! ね!! つまんない!!

